

# 障害者のための防災教材

厚生労働科学研究「障害者の防災対策とまちづくりに関する研究」(H.24～26)

研究代表者：北村弥生 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

kitamura-yayoi@rehab.go.jp

CDの他に、下記URLのリンクからもダウンロードで入手できます。

<http://www.rehab.go.jp/ri/fukushi/ykitamura/kitamurayayoi.htm>

マルチメディアデジ版 & pdf版

## 「自閉症の人のための防災・支援ハンドブック(本人・家族編)」

日本自閉症協会編



東日本大震災でも最大1日に約2万件がダウンロードされた防災マニュアル。本人に読んでほしい部分と親向けの部分を、違う声で読み分けた。英語版も作成。33ページ。

マルチメディアデジ版 & pdf版

## 「災害と発達障がい」

前川あさ美著(東京女子大学)



岩手県宮古市や東京都内の発達障害児らの保護者ならびに支援員の協力を得て作成。防災は、まず「現実から学ぶこと」、「自分(子ども)と自分が持っている力を知ること」から始まるということから、東日本大震災での体験をまとめている。16ページ。

pdf版 & jpeg画像

## 「発達障害のある人の防災実践BOOK 地震に備えていのちを守る」&イラスト原画

「障害者の防災対策とまちづくりに関する研究班」発行  
五里江陽子 企画・編集・デザイン



電車通学や通勤をする青年期発達障害者が自分で読むための防災教材。埼玉県所沢市に住む場合を例に、一般のマニュアルにその行動をする意味の解説を追加した。各自のマニュアルを作成するためのひな型として活用されることを期待している。32ページ。

pdf版リーフレット

## 「障害のある人と周囲の人の災害時の備え」「障害のある人の支援 ～避難所の場合～」「障害のある人の支援 ～在宅の場合～」

北村弥生著(国立障害者リハビリテーションセンター)



A4用紙1枚に要点をまとめた。地域で障害について、理解いただくのにご利用いただきたい。

## iPad版 「自分をまもるリュック」

原案・企画：前川あさ美(東京女子大学) デザイン・制作：川口吾妻、小笠原たけし、坪沼真理(女子美術大学)

東日本大震災後考案された「自分をまもるカード」をiPadを使って作成する防災アプリ。防災に子どもたちが関心を持ち、主体的に取り組むことを可能にし、「自分を知る」「自分を伝える」ための情報を整理できる。下記URLよりダウンロード準備中。一般社団法人 福祉芸術支援協会：www.wasa.or.jp

